

劇団ふあんハウス・団長の独り言
第三十五回公演「夢めぐりin板橋」

「夢めぐり」

「夢めぐり」
ありがとうございました。」

鈴木千秋

今年の夏に上演する、新作脚本を執筆中の団長・平野恒雄に代わり今週は鈴木千秋が「団長の独り言」を担当いたします。

一月五日に上演した今年最初の舞台「夢めぐりin板橋」から、早いもので一か月が過ぎようとしています。このひと月の間に、お仕事やらなにやら、色んなことが詰まっていたので、舞台本番がもっと前のことのように感じていきます。

そんなハードなひと月でしたが「夢めぐりin板橋」の記憶は、まだまだ鮮明に残っています。今回はお正月の公演ということで、新年を祝う明るくめでたい雰囲気劇場にも漂っていました。ですが、少なくとも本番をやり遂げるまでは、浮かれず自分を律して行動しようという心がけていました。

また、風邪などの感染症の流行る時期ですし、特に体調管理には細心の注意を払い、身体が鈍らないよう、年末年始も出来るだけ動いて、小屋入り前日もスポーツジムへ行き、箱根駅伝で走るランナーや、チーム、実況など、テレビ画面から伝わる熱気に影響を受けつつ、ランニングマシンで走り込んだりもしました。

その甲斐あって、体力を維持し、完全の体調で本番に臨むことができました。

さて、「夢めぐり」は、昨年夏の公演も、今回の冬の公演も開場時から舞台の緞帳幕が上がっていて、舞台セットが見えるようになっていました。いつもの劇団ふあんハウス公演では、開演までは緞帳幕は下りていて、開演とともに緞帳幕が上がって、そこで初めて舞台セットがお客様の前に現れます。

その末吉家（すえよしけ）は、劇団では初めてとなる斜め十五度に角度のついたセットで、玄関を入るとクリーニング店のカウンター、お部屋が二つあり、廊下・縁側・奥へと続く襖など、しっかりと作り込まれた舞台セットでした。開演前から緞帳幕が上がっていたことで、「素晴らしいセットをじっくり見ることができた」と、お客様にも好評だったようです。

さてさて、諸々の準備が整い、ゲネプロを終え、しばしの休憩を挟みいよいよ本番です。

開幕を告げる二ベルが鳴ると、ピアノのアマテイーと、ヴァイオリンの池田開渡さんの素晴らしい演奏が始まります。

「オーブニングの演奏を聴いただけで涙が出てきた！」という方も多かったんですよ。

そして舞台セットにゆっくりと照明が入り、息が吹き込まれていきます。

私はこの舞台で最初に登場する役だったもので、舞台下手にある花道の奥からその照明の変化を見ていて、物語の舞台となる末吉家に、ゆっくりゆっくりと血が通い始め、息をしていくのを感じていました。

実はこの時、私はとてつもなく鼓動が激しくなり、つまりかなり緊張した状態になっていました。出番直前で激しく緊張してしまうこと、時々あるんです（汗）。

適度な緊張は必要だと思っているのですが、必要以上に緊張してしまうと、発声などにも影響しかねません。それくらい緊張してしまっていて、演奏が終わり、私の登場まで時間がないのですが、大きく大きく深呼吸を何度か繰り返して、気持ち落ち着かせ、灼熱の太陽が照りつけ、セミが大合唱する舞台へと向かいました。

打ち上げの席で、この登場シーンでめちやめちや緊張していたことを話したら、舞台監督の高橋さんにかなり驚かれました。

確かに何度も舞台に立っているし、幕開きと同時に登場することも私は多いですし、あまり緊張しているようにも見えないタイプなので（笑）、そこまで緊張しているとは思わなかったですね。

まあ舞台に出してしまえば、さっきまでの緊張は嘘のようになくなるわけですが（これは多くの役者さんが経験しているのではないのでしょうか）。

そのオーブニングの照明の変化は、照明の土門さんもこだわり&技術があったようです。時間の流れの表現がすごく素敵だと、緊張しながらも見ていました！

ちなみに音響の野中さんは、オーブニングでけたたましく鳴くセミの音は、百合子がドアを開けて室内へ入ると静かになり、室内で聞こえるセミの音量に変化するという、さすがのこだわりというか技術で対応してくださっていました。

それぞれのプロの皆様にしてみれば、当たり前なことかもしれないのですが、専門外の私は、いちいち感心してしまうのでした。

「夢めぐり」の記憶・想いは尽きません。

舞台は実にたくさんの方々に支えられ、公演が成り立っていること、チームワークにより作られていることを、この作品通して、またあらためて実感いたしました。

ご来場いただいたお客様、応援してください。さつている皆様、ご尽力いただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました！

お客様からいただいた有難い感想や、厳しいご意見をしっかりと受け止め、日々成長していきたいと思えます。

これからも、劇団ふあんハウスをどうぞよろしくお願いたします。